



知心健



自らの生活を開拓し 創造する生きがいを求めて ～

文責 教頭

<http://www.shunkoudai.jhs.asahikawa-hkd.ed.jp/>

平成30年度全国学力・学習状況調査の校内分析！

4月17日（火）に3年生で実施いたしました「全国学力・学習状況調査」の結果が文部科学省より送付されてきました。本校の生徒の成果と課題について分析いたしましたので、特徴的な事項についてお知らせいたしますとともに、課題を踏まえ取り組んでいる各教科の主な改善策についてもお知らせいたします。今後も、学校全体としてさらなる学力向上に向けた取り組みを推進してまいります。ご家庭でのご理解とご協力もよろしくお願いいたします。

国語科

○成果となってあらわれたもの

- ・漢字の読み書きや適切な語句選択、語句の意味を正しく捉えるといった言葉に関する知識・技能の正答率が高い。
- ・文章を読み、内容や展開を解釈する力がおおむね身についている。

●課題と考えられるもの

- ・古典分野は全体的に正答率が低く、伝統的な言語文化に関わる知識・技能の定着に課題がみられるので、基礎・基本的な知識の復習が必要である。
- ・短答式や記述式の問いに対する無回答率が高い。
- ・全体の要旨をつかんで与えられている文字数で記述することに課題がみられるので、条件に沿って自分の言葉で文章をまとめる力をつけていく必要がある。

★改善策

- ・古典分野における基礎的・基本的な知識の復習を行う。

数学科

○成果となってあらわれたもの

- ・基礎的・基本的な知識・技能について、繰り返し練習を行うことで、学習内容の定着を図ることができた。特に、図形領域における知識の正答率が高い。

●課題と考えられるもの

- ・記述問題で、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。特に、判断の理由を数学的に表現することが苦手とされた。今後は、問題の解決過程において、多面的な考え方を引き出し、そのよさを理解して解決する活動を取り入れていきたい。

★改善策

- ・問題の解決過程における多面的な考え方を引き出す活動を充実させる。

理科

○成果となってあらわれたもの

- ・植物・動物に関する基本的な知識を身につけており、生物分野の正答率が高い。

●課題と考えられるもの

- ・地学、物理分野の基本的な知識が十分に身につけていない。
- ・実験の計画を立てるときの「変える条件」「変えない条件」を考えることに課題があるため、実験の際など考える機会を増やしていく。

★改善策

- ・地学、物理分野における基礎的・基本的な知識の復習を行う。

生徒質問紙

○成果となってあらわれたもの

- ・家庭学習の定着～家で予習・復習をしている生徒が多く、家庭学習の習慣が定着してきている。
- ・読書に親しむ生徒～読書（1日30分以上）をする生徒が増えている。

●課題と考えられるもの

- ・自己肯定感～「自分には良いところがある」と感じている生徒が少ない傾向にある。
- ・社会性～「家の人と学校の出来事を話す」ことが少なく、地域や社会で起こっている問題や出来事への関心が低い傾向にある。
- ・学習時間～普段の日の学習時間（1時間以上勉強する）は、短い傾向にある。

★改善策

- ・家庭学習のサポートを充実させ、学習時間を増やす取り組みを行う。

eライブラリアドバンス 家庭学習サービスについて

先日、全校生徒に右にある個人IDカードを配布いたしました。インターネットに接続したパソコン、スマホ、タブレットPCがあれば、いつでもどこでも無料でドリル学習ができるという「eライブラリ・アドバンス」の活用について再度お知らせをいたします。

コンテンツの中には過去の入試問題などもあり、家庭学習教材の一つとしてご活用していただければと思います。

検索エンジンで「eライブラリアドバンス」と入力するか

<https://katei.kodomo.ne.jp>

をアドレスバーに直接入力すると、eライブラリのログインページへいけます。

IDカードに記載されている「学校コード」「ID」「パスワード」を入力します。マイページから、ドリル学習や調べ学習ができます。